

広報なかのくち



孫校長よろしくお願ひします
—— 日中友好 ——

12

今月の内容

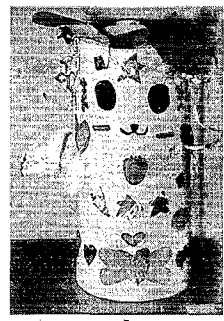
- | | | | |
|---------|-----|---------|-----|
| 総合文化祭 | ② | 広報が400号 | ⑧・⑨ |
| 村のできごと | ③~⑤ | 介護保険 | ⑩ |
| 先人館通信 | ⑥ | お知らせ等 | ⑪~⑬ |
| 村長のひとり言 | ⑦ | 先人館土俵開き | ⑭ |



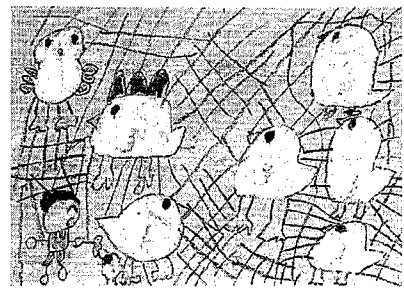
村民カレンダー〔12月〕折り込み



3年 竹石 みき

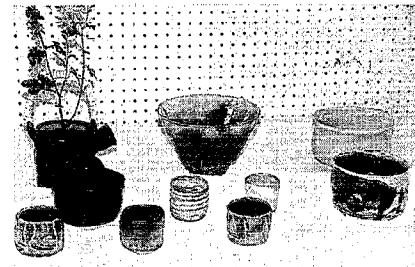


2年 保坂 ゆい

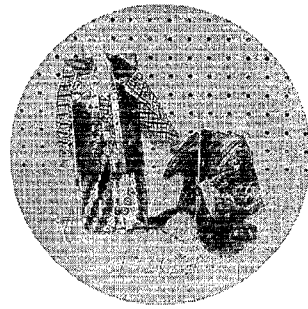


1年 すがわら かずや

中之口東小
文化祭



陶芸・鏡 幸平

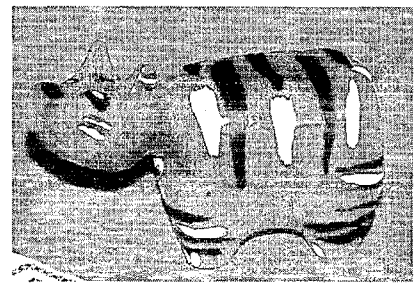


一般・平岡 静江



絵画・長沼 長三

総合
文化祭



6年 星野 祐未



5年 佐野 健史



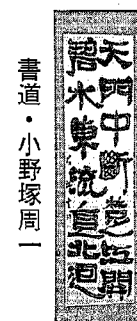
4年 小林 進吾



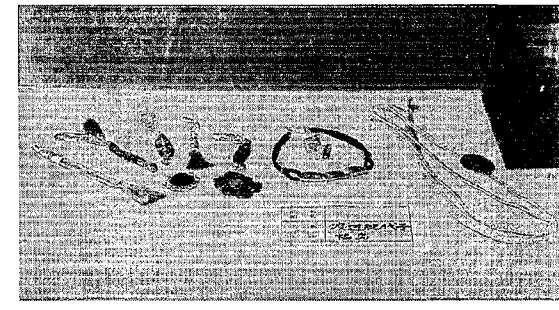
表具・渡辺 登



華道・海藤ハルノ



書道・小野塚周一



手工芸・渡辺紀代子

芸術の秋を満喫

10月から11月にかけて、村内小・中学校文化祭、中之口村総合文化祭が行われました。各文化祭は全て天候に恵まれ、多くの方が見物されました。特に今年の総合文化祭は、先人館オープンと重なり、スタンプラリーを行ったことで、例年以上の人で賑わいました。15部門497名による1,024点の作品は、レベルの高いものばかりで訪れた人々の心をとりえ、芸術のすばらしさを教えてくれました。

◆スタンプラリー当選者発表

スタンプラリー応募422名の中から、次の方々が当選いたしました。おめでとうございます。

- ・大矢 正朋 (東船越)
- ・山田千重子 (六分)
- ・渡辺 ヨシ (中之口)
- ・川上茉衣子 (濁浦新)
- ・藤田 昭吾 (真木)
- ・中矢美和子 (新潟市)
- ・登石 幸子 (福島)
- ・富田 宮子 (燕市)
- ・平岡 静江 (打越)
- ・高野 清 (白根市)

※賞品は、農村環境改善センター(公民館事務局)まで、受け取りにおいでください。

※総合文化祭によせられた声

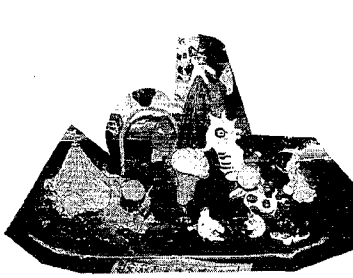
- ・いろいろな作品があり、参考になりました。
 - ・久しぶりに澤邸に行って来ました。庭園がすばらしい。
 - ・先人館にビックリ、これからの期待します。
 - ・体験コーナー楽しかったです。
 - ・一度に、いろいろな作品が見れて良かった。
 - ・内容が充実していて、プロ級でした。
 - ・スタンプラリーがあったので初めて澤邸に行って来ました。
 - ・すべて工夫されていると感心しました。楽しかったです。
- 多くの方々のご参加、本当に、ありがとうございました。



中之口西小学校



中之口東小学校



3年 牧 徳好



2年 川端 晃太



1年 はせがわ りな

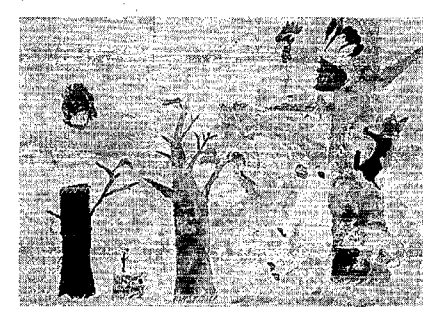
中之口西小
文化祭



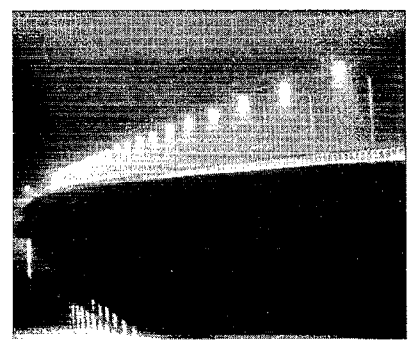
6年 広川 泉



5年 小林 俊富



4年 富山 史章



写真・矢野 健一



盆栽・鶴巻 豊司

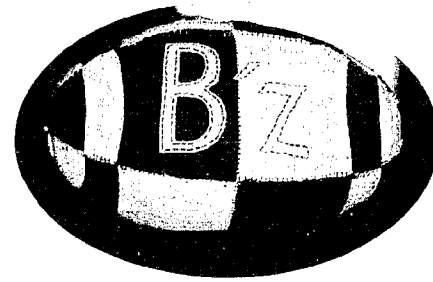
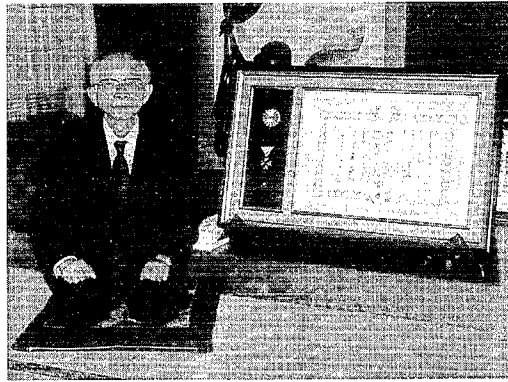


一般(ちぎり絵)・原 れい子

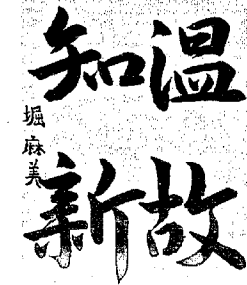
保倉保興氏に勲五等瑞寶賞（教育功労）

保倉氏は、主に英語の先生をはじめ指導主事、校長として42年間教職を勤められました。勤務校は、松長中学校・天神中学校……最後の巻西中学校まで7か校でした。

『私の叙勲受賞は、皆様方のおかげです。今一番喜んでいることは、教え子がみんな立派な社会人として活躍していることです。今では、私が教えられたり、話を聞かせてもらったりしてありがたく思っています。この受賞で多くの方から祝いの電話やお手紙を頂いて感謝しています。』と受賞の喜びを話されました。



3年 武石 泰宏



2年 堀 麻美



1年 星野えりか

中之口
文化祭

哈爾濱市橋南小学校・孫校長来村

11月7日、中之口村日中友好協会設立10周年記念事業として中国哈爾濱市橋南小学校・孫鳳英校長が来村しました。孫校長は、村長に表敬訪問し、村内を視察。中之口東小学校では、児童のマーチングバンド演奏で歓迎を受け、授業を参観。その後、児童といっしょに給食を食べました。児童を前に「橋南小学校では、皆さんの作品を楽しみにしています。今後とも作品交換やお互いの訪問により、益々交流が深まることを祈っています。」と話されました。最後に、日中友好碑の前に記念植樹を行いました。



良寛歌碑建立1周年記念講演会



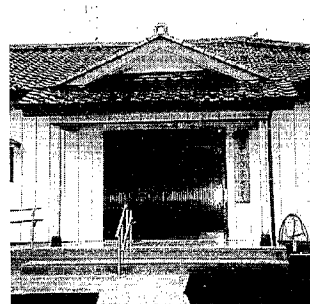
中之口村良寛会は、歌碑建立1周年記念として全国良寛会常任理事の谷川敏朗氏を講師に迎え「良寛と茨曾根」と題した講演会を開催しました。良寛妻帯説などで茨曾根の関根家との関係などを検証しました。

野崎芳榮氏に衛生自治表彰



野崎氏は、村の衛生自治会長として17年、衛生自治会連合会長として5年間務められました。この活動が認められて愛媛県で開催された地域保健全国大会で全国衛生自治連合会長表彰を受賞されました。

高中コミュニティーセンター完成



高中集会所が、高中コミュニティーセンターとして生まれ変わりました。施設は、6室134㎡でバリアフリー構造でできています。高齢者や身障者にも利用しやすく、やさしい建物です。

防衛訓練開催

～火災予防運動期間中に～



11月9日、中之口東小学校を会場に火災防衛訓練を行いました。火災発生時のサイレンで消防署と中之口村消防団第1分団がかけつけ、放水訓練・救助訓練・消火器訓練を行いました。

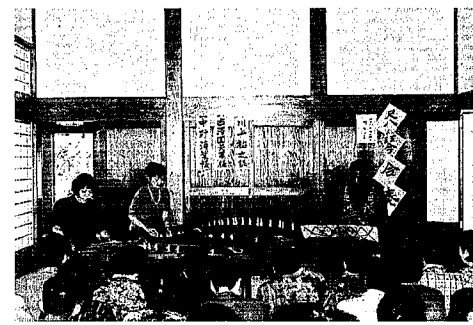
ふれあいコンサート開催

－ 中之口東小学校 －

10月30日、東北電力の教育支援活動の一つとして、子どもたちに音楽的な感性を高めてもらおうと「ふれあいコンサート」が開催されました。コンサートの演奏者は、富井瑛之をリーダーとするボンク・パーカッション・アンサンブルで、若手10名のグループです。会場には、児童や保護者約300名が詰めかけ「となりのトトロ」など10曲のラテン調演奏を楽しみました。また、東小学校のマーチングバンドとの共演やリズムアンサンブル体験を行いました。



澤邸大賑わい



11月3日、4日澤将監の館で文化祭関連行事が行われました。3日には「抹茶サービス」が上段の間で行われ、170名ほどが秋の中庭を見ながら、茶の湯を楽しみました。4日には恒例の伝統芸能鑑賞会が開かれ、吉田町の川上祐之さん等により琴と尺八演奏会を行いました。約120人の観衆は、澤邸に響きわたる琴と尺八の音色を聞き入っていました。また期間中には、吉田町の塚原繁子さん等の「おいらん道中」や村民有志による和紙人形展が来館者の目を楽しませました。

先人館通信

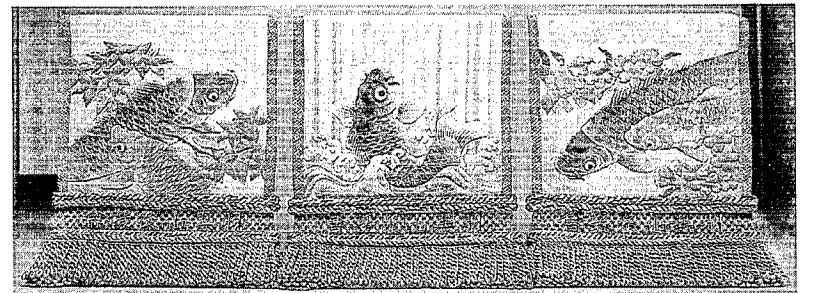
中之口村先人館は11月3日にオープンし、11月15日現在で3,000名を超える入館者がありました。先人展示室及び村民ギャラリーでは、オープン記念企画で期間限定の展示品を12月22日まで展示しております。まだ、ご覧になっていない方はお早めにご来館下さい。

展示品紹介コーナー No.1

今回より先人館所蔵品及び借用の展示品をこのコーナーで紹介いたします。

『横綱羽黒山の三揃いの化粧廻し』3点
 (財)日本相撲協会 相撲博物館所蔵

この化粧廻しは、戦前にホテルニューオータニの創設者大谷米太郎氏(当時立浪部屋後援会長)が羽黒山に贈った品で、鯉を主題に紅葉、滝登り、桜と3枚で見事な季節画となっています。



『小柳正弘家地方文書』9点
 立教大学図書館寄託

この史料は、昭和39年5月に小柳正弘氏が小柳家で所蔵していた地方文書を立教大学へ寄託したもので、主に小柳卯三郎氏の自由民権運動等の史料を多く含んでいます。



※上記2点は所蔵者のご厚意により貸出しを受けた品で、12月22日までの期間限定の展示品です。

「村民ギャラリー」貸し出しの募集

貸出し期間 平成13年2月1日から3月31日まで(展示は1週間単位で 最大で1ヶ月間)
 貸出し対象者 村内在住又は、村内に勤務をされている個人、若しくは団体・グループ
 利用方法 個人・団体・グループの作品など発表の場として使用できます。
 (例 書道サークルの作品展・写真愛好家の写真展など)
 その他 村民ギャラリーの使用料は無料です。ただし、営利を目的とする個人・団体・グループには貸出ししません。
 申込み期限 12月25日(月)まで
 申込み先 中之口村先人館 ☎375-1112 担当 北條まで

お知らせ

- 企画展
 期 日 1月6日(土)から1月31日(水)
 会 場 村民ギャラリー
 内 容 新潟游波会主催の書道展テーマ『花』
 出 展 者 籠島天游氏・高木 誠氏ほか
- 休館日

展示品の入れ替えと年末年始のため12月23日から1月5日まで休館いたします。



現在開催中の絵画展

牧ヶ島村について

県立文書館古文書より

先人館が賑わっています。中之口村の生い立ちのコーナーで中学生が「牧が島村があったんだア……」と話していました。明治22年の町村合併で打越村といっしょになりましたが、昔からあった立派な村でした。

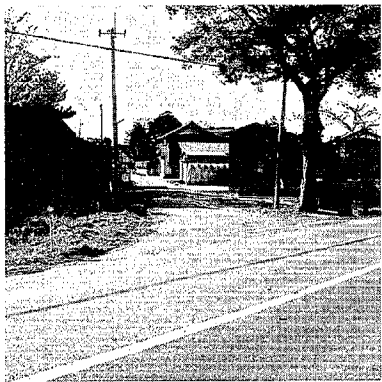
書き上げられています。そして面白いのは「江戸表当村より辰巳の方に御座候 道法・信州通百五里程。(長野まわりで420km)三國通八拾五里(群馬まわりで340km)会津通百拾里(会津まわりで440km)」と江戸までの距離を書いています。

そして人数 男57人 女56人合せて 113人とあります。(現在の人口 男30人 女40人 計70人)最後に、「右之通相違無御座候以上 文政二卯年 牧ヶ島村 百姓代、組頭、庄屋 印一之木戸御役所」と結んであります。今から一八〇年も昔のことです。

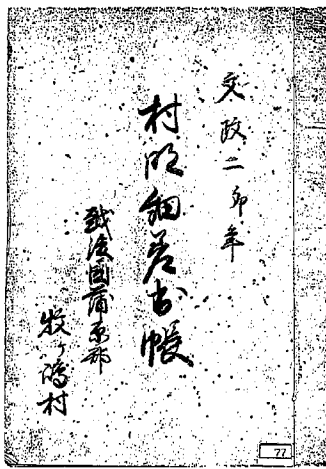
文中 西真木とありますが正しくは西横新田で長岡藩です。牧(マキ)は牧場の意味でなく渦(うずまき)であり、水の流れが早くその曲り目に土砂がたまり微高地が出来、ムラが出来たとおっしゃられています。世の中が移り変わりますが、地名は大切にして後世に伝えていきたいものです。

12月
 村長の主な動き
 ▼4日(月)・インター周辺連絡協議会 先進地視察(新井市)
 ▼5日(火)・土木振興会陳情(東京都)
 ▼6日(水)・県町村長研修会 全国町村長大会(東京都)
 ▼8日(金)・三村住民海外研修事業 報告会
 ▼25日(月)・郡町村会(巻町)
 ▼27日(水)・県境町開町式(黒埼町)

ふるさと再発見



▲ 牧ヶ島の県道入口



吹き始めた寒風にまだ体がなじまない、そんな今の季節、花びらの縁をわずかに縮らせたさきんかが咲き始めた。
 花の美しい初冬、雪や風の寒さの中に明るく咲く、その風情が好きで、植木屋から買った、挿し木で増やしたりして、家の周りに植え始めた。かれこれ20年になる。いま、その数約70本、東雲、富士の峰、大朱盆、丁字車など、その種類も十数種になった。
 「さきんか(山茶花)」は、もとは漢字をそのまま読んだ「さんさんか」で、いつとはなしに「さきんか」になったのだという。学名は「カメリア(椿の意)・ササンクワ」。椿と違ってさきんかの落花は、花びら一枚ずつはらはらと散る。
 そのさきんかが咲く道を、子どもたちがためらいながらたき火に手をかざして暖を取る、そんな情景を描いた童謡がある。
 ・さきんか さきんか 咲いた道
 たき火だ、たき火だ 落葉たき
 あたらうか あたらうよ
 ・さきんか さきんか 咲いた道
 たき火だ、たき火だ 落葉たき
 あたらうか あたらうよ
 ・さきんか さきんか 咲いた道
 たき火だ、たき火だ 落葉たき
 あたらうか あたらうよ
 ・さきんか さきんか 咲いた道
 たき火だ、たき火だ 落葉たき
 あたらうか あたらうよ



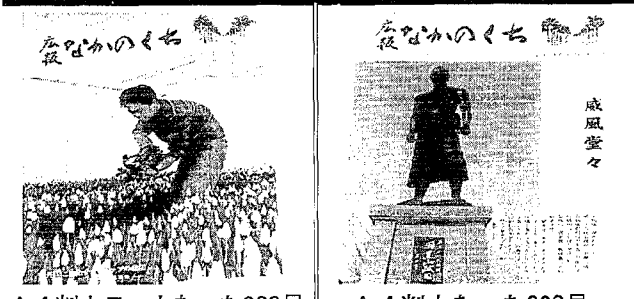
▲ 孫校長と歓談する村長



広報なかのくち 400号になりました

B5判となった50号

毎月皆さんのお宅に区長・総代さんを通してお届けしている広報誌「広報なかのくち」が、今月で400号を迎えました。昭和54年4月25日に第1号が発行されてから21年と7カ月。その間、村の歴史とともに、村での出来事や情報などを住民の皆さんに伝え続けてきました。そこで、今月は400号を記念して、第1号からの広報のあゆみを振り返るとともに、広報紙としての役割などを考えました。



A4判カラーとなった322号 A4判となった308号

記念すべき創刊号は、タブロイド版

広報紙の第1号が発行されたのは、現在の役場庁舎に移転して半年余りが経った昭和54年4月。その紙面の大きさは、タブロイド版(新聞紙の2分の1ページ)で裏の2ページ構成でした。創刊号の一面では、当時の村長酒井正五氏が発刊にあたり次のように述べています。
「新年度から村の方針や事業等につきまして、皆さんから早く知っていただくために添えられるように心掛けたいと思います。政府はIT革命と称して、行政の事務の見直しを進めています。村では、ホームページを9月に開設、村民からの声や意見を把握するためインターネットでも受け付けています。気軽に意見・要望を広報紙までお寄せ下さい。また、広報紙でお知らせできない急な用件については、随時行政防災無線にてお知らせしています。今後は、各家庭にパソコンが普及し、インターネットで広報が見られる日がくることと思います。」

広報の前は、館報で情報提供

ところで、広報紙が発行される以前はどうであったかというところ、「館報」と呼ばれ親しまれていた「館報なかのくち」が、昭和30年4月から発行されていました。昭和29年7月に小吉村、道上村、燕市の一部が市町村合併して中之口村が誕生しました。その翌年の4月から、中之口公民館報として創刊されたのです。その紙面の大きさは、B5判で2ページ構成でした。館報創刊号では、「純農村中之口村は、拳村進展の基礎固めに万進する……。また公民館は、鋭意社会教育の機関たるべく組織の確立を図り事業を進めてゆく。宿願の館報を発行できる……。」とありました。また、当時の館報には、村内の商店がスポンサーとして掲載されていました。その後数年は、不定期に発行されましたが、

広報紙の移り変わり

行政が住民にお届けする広報紙は、身近で親しまれるものでなければなりません。そのためにも様々な改良が重ねられてきました。大きさについては、タブロイド版であったものが昭和58年4月号から手にとって読みやすいようにとB5判に変更されました。B5判になってからは、広報の顔とも言われる表紙に一枚写真が使われ始め、季節感あふれる身近な風景や、行事などのスナップ写真が用いられるようになりました。現在のA4判の大きさになったのは、平成6年4月号からで、伝える情報量が多くなったことや、活字を大きくして読みやすい広報にという考え方での変更でした。また、平成7年4月号からは表紙・

分かりやすい 広報紙を目指して

広報紙発行の目的は、行政の持っている情報や考え方をなどをお知らせすることです。しかし、住民と行政のコミュニケーション紙として考えれば、住民の意見・要望を反映していくことが大切であると思っています。行政に住民が参画するには、今おかれている状況を知って適正な判断が必要です。そのため村が直面している課題や地域のほのぼのとした話題などの情報を整理し、

広報紙をチェックしてください

広報の紙面には、特集やお知らせといった、その月に違った内容のものや、コーナーで毎月同じスペースを割くものがあります。現在残っているコーナーのいくつかをのぞいてみましょう。

行政を支える人々

行政は多くの村民によって支えられていること、仕事を紹介するコーナーです。

おらが 村長の暮らし

村長が、ふだん生活や仕事を通じて感じている気持ちを何げなく書いてもらっています。皆さんから村長が身近に感じると言われています。

元気

村内の元気人間を紹介しています。色々な分野で活躍している人が身近にいます。

題字の移り変わり

1号～49号
50号～307号
308号～340号
341号～現在

第1号 中之口 公民館報
第2号 中之口 155号

166号～275号

介護保険

高齢化社会に適應するため、できた介護保険制度について、毎月テーマをしばって説明しています。

ふるさと再発見

公民館長が見識をいかして、古文書や昔の資料を皆さんに紹介しています。

人の動き

最もロングランのコーナーです。出生・結婚・死亡が一目で知ることができます。

介護保険 その22

問い合わせ 住民課介護保険係 375-2712 内線123

表① 要介護者(要支援)の認定状況(10月末現在)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	16	33	30	36	16	24	155
65歳以上75歳未満	3	7	4	6	2	4	26
75歳以上	13	26	26	30	14	20	129
第2号被保険者		1	2	1			4
合計	16	34	32	37	16	24	159



平成12年4月から介護保険制度が始まり、10月からは65歳以上の方からの保険料の徴収も始まりました。今月は、皆さんからいただいた保険料がどのように使われたか4月以降の状況についてご紹介します。

要介護認定者の数は159人

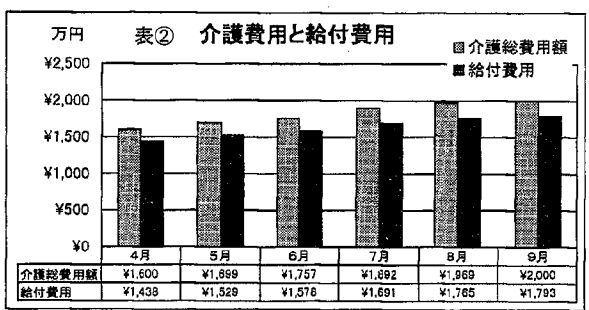
介護保険の認定を受けた方は10月末現在159人で、村の65歳以上75歳未満の方の3.2%、75歳以上の方の2.3%になります。(表①)

これは75歳以上の方の5人に1人は要介護又は要支援の認定を受けている事になります。

また、サービスを利用している方は在宅で88人、施設で37人います。また、認定を受けてもサービスを利用していない方は34人いて、これは、認定を受けるまで30日程度の日数がかかるため、予備的に認定を受けている方が多いと言えます。

介護総費用額は月1,960万円あまり

介護保険の認定を受けた方が、介護サービスを利用すると、保険料とは別に介護総費用額が掛ります。



介護総費用額は、4月からの介護総費用額は、1,600万円から2,000万円まで推移しており、制度の開始から徐々に増えてきています。(表②)

もあつたと思いますが、制度が徐々にみなさんに浸透してきたためと言えるでしょう。

給付費は原則9割

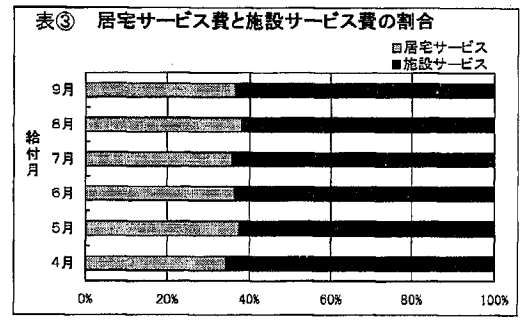
介護総費用のうち、介護保険から給付した(支払った)額は、4月が、1,438万円、9月では、1,793万円でした。

この給付費用は介護費用の9割が原則となりますが、施設入所者の食事費用の減額や1世帯あたりの負担が一定額以上の高額になった場合にお返しする制度やサービス計画費のように1割負担がかけられないサービスもあり、必ずしも9割にはなりません。9月で約89%です。

給付費用の6割以上が施設入所に係る費用

この施設サービスは、特別養護老人ホーム(虹の里・花見の里・黒崎の里など)や老人保険施設(めぐみ園)です。

給付費用の内訳を居宅サービスと施設サービスに分けてみると、施設にかかる費用が6割以上を占めています。



居宅サービスは訪問通所サービスが中心

居宅サービスは、ホームヘルパーを派遣する「訪問介護」、デイサービスセンターや老人保健施設に日帰りで通う「通所介護」や「通所リハビリ」が中心で居宅サービス給付額の約8割を訪問介護と通所介護で占めます。

おいしい米づくり共励会

中之口村農業振興協議会では、反収・食味・品質・出荷比率を基準においしい米づくり共励会を行いました。

団体の部
最優秀賞 長場農研
優秀賞 道上農研
優良賞 三ツ門農研

個人の部
最優秀賞 田辺 重夫(長場)
優秀賞 佐藤 春雄(三ツ門)
優良賞 小野塚 一人(羽黒)
努力賞 猪股 文雄(糸郷屋)
五十嵐 一浩(糸郷屋)
宮川 一也(長場)

剣友会

11月12日に行われた黒崎町剣道大会に中之口剣友会が出場しました。

個人戦
5・6年生の部
3位 佐藤 大樹
ベスト8 本田 進平
" 広川 達也

中学生の部
準優勝 佐藤 洋平

骨髄バンクにご協力ください

毎年12月は骨髄バンク推進月間です。

骨髄バンクにご協力ください。

白血球や重症再生不良性貧血などの血液疾患により毎年約6千人の方が亡くなっています。骨髄移植はこれらの疾患に有効な治療法です。

移植をするには、患者と骨髄提供者(ドナー)の白血球の型が一致しなければなりません。この確率はたいへん低いため、多くのドナーを募る必要があります。

患者に生きる希望を与えるのは、あなたのやさしさと勇気による「ドナー登録」です。

◎問い合わせ
(財)骨髄移植推進財団
0120-1445-1445

公民館 ハーブ料理教室

体に優しいハーブを使った料理教室を開きます。

◎日時 午後7時から
12月15日(パンとスープ・ハーブバター)
12月22日(クリスマス料理)
1月26日(体が暖まる料理・リゾット)

◎場所 改善センター
エプロン・三角巾・マスク

◎参加費 1,000円(1,500円)

◎申し込み先
改善センター(公民館事務局)
375-15008

中之口郵便局 業務開始

12月4日から道上郵便局に変わり、役場隣で中之口郵便局が業務を開始します。

製造事業所の皆様へ

統計調査に御協力ください

12月31日現在で、次の統計調査が同時に行われます。

- 平成12年工業統計調査—製造事業所の実態を調査
- 平成12年石油等消費構造統計調査—従業員30人以上の製造事業所の石油等の消費実態を調査

12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字等の正確なご記入をお願いします。

通商産業省 新潟県 中之口村

子ども会親善卓球大会結果



11月11日に総合体育館で親善卓球大会が行われました。

卓球大会には、団体15チーム、個人99名が参加し、元気いっぱいプレーをしました。

▲優勝の共立チーム

団体戦
優勝 共立A
準優勝 六門
3位 鴻浦新・共立B

個人戦
優勝 小林 進吾
準優勝 五十嵐理沙
3位 大澤 克弘

5年生の部
優勝 武藤 優美
準優勝 宮本 俊彦
3位 星野 香奈

6年生の部
優勝 堀 篤人
準優勝 渡辺 美冬
3位 渡辺 武治

国勢調査人口当てクイズ (中之口村) 当選者発表

平成12年10月1日現在の中之口村の人口当てクイズの結果を発表します。

村の人口 6,483人

(この数字は総務庁統計局の公表結果とは異なる場合があります)

◎当選者

1等(5千円分の図書券) 1名
永嶋 佳穂(鴻浦新)

2等(3千円分の図書券) 2名
細野 司(上小吉) 平岡 忍(打越)

3等(千円分の図書券) 10名
渡辺 久良(打越) 荒木 正栄(福島)
青木 伍市(打越) 山田 芳枝(六分)
田辺 友幸(小吉) 永嶋 清美(鴻浦新)
田村 光治(真木) 永嶋 瑞穂(鴻浦新)
袖山 美貴(道上) 安達 邦子(小吉)

※図書券は後日郵送いたします。多数の応募ありがとうございました。

平成13年度 幼稚園児募集

◎募集期限

平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた中之口村在住のお子さん

◎募集期間

平成12年12月15日(金)まで

◎申し込み先

在籍の保育園または幼稚園へ「入園願書」を提出してください。

◎諸経費 (平成12年度)

- ◇保育料 月額9,000円
- ◇給食費 月額3,900円
- ◇その他(教材費など)

◎問い合わせ及び入園願書の請求
中之口村教育委員会事務局
☎375-11112

※応募者全員の入園を予定していますが、健康状況によって入園をご遠慮願う場合もあります。

保育園児募集年令の変更のお知らせ

本村では、近い将来保育園を統合し、新しい保育園の建設を計画しております。

そこで、平成13年度保育園の入園募集の対象を先の広報では3才児までとお知らせいたしましたが、先般ご協力いただきましたアンケートの結果などを考慮した中で、4才児までとすることにしました。くわしい事は各保育園へお問い合わせください。

平成13年 優良運転者表彰の 申請受付

中之口交通安全協会では、平成13年の優良運転者表彰の申請受付いたします。

◇受付日時

12月17日(日)

午後1時30分～午後4時

◇表彰種別

10・20・30・40・50年

◇表彰基準

それぞれの年数以上の運転経験を有し、過去当該年数の間、継続して無事故無違反であれば、過去の表彰の有無は問いません。

◇必要書類

印鑑、運転免許、前回の表彰年月日が分かる書類。

※今回初めて申請の方は、「無事故、無違反証明」が必要のため、700円が必要。

(ただし、30年表彰まで)

◇申請場所

農村環境改善センター

◎問い合わせ先

中之口村役場総務課

☎375-12712

※昨年、申請された方は当日お受け取りください。

年末の交通事故防止運動

12月11日～31日

◇スローガン

年の瀬はゆとりと笑顔で安全運転

◇運動の重点

- ・高齢者の交通事故防止
- ・夜間における交通事故防止
- ・飲酒運転の追放



人の動き

(11月1日～15日受付)

◎元気なよい子に



11月2日生
川端 悠平(英夫・映子) 福島

◎幸せ多い人生を



長谷川 洋 新潟市
池田 純子(清一) 真木

秋本 良(和男) 中之口

荒川 裕美 栄町

高野 雄介 新潟市

山崎真由美(秀夫) 道上

多賀 豊 西川町

永嶋知恵子(昇) 上小吉

長沼 健二(丈夫) 道上

吉田 美紀 千葉県



◎ごめい福を祈ります

小林 ミワ(丑太郎) 88 打越
大澤 正直本 人) 82 羽黒

※掲載を希望されない方は、届出の際に戸籍窓口にお申し出ください。

みんな見たかな、読んだかな (チェックにお使い下さい。)

おじいさん	おばあさん	お父さん	お母さん	お兄さん	お姉さん	ぼく	わたし	お子さん

? 広報クイズ ?

問題1 優良運転者表彰申請の受付日は?

- ①12月10日 ②12月17日 ③12月24日

問題2 今年の総合文化祭に出品された作品の総数は?

- ①約800点 ②約1,000点 ③約1,200点

問題3 先人館土俵開きで、力士が行った土俵入りの型は?

- ①雲竜型 ②不知火型 ③猪名川型

答えは広報の中にあります。よく読んでお答え下さい。

12月15日消印有効

正解者の中から5名の方に500円分の図書券を差し上げます。

多数のご応募をお待ちしております。

11月1日号広報クイズ当選者

応募21通の中から、次の5名の方に500円分の図書券が当たりました。

おめでとうございます。

石塚チハル(上小吉)

菅原 レイ(上小吉)

長沼 佳枝(打越)

渡辺 久良(打越)

相田 美江(六分)

抽選は、11月17日に役場にいられた相田文代さんをお願いしました。

答えは、問題1-①、問題2-②、問題3-③でした。

ハガキの書き方

裏 表

広報12月1日号の
答え 問題1-〇
問題2-〇
問題3-〇

住所
氏名・年齢
〒

投稿欄(何か気づいたこと)

50 950-1327

中之口村大中之口公民館
中之口村役場
総務課
広報係 行



寄付

社会福祉に役立ててほしいと寄付がありました。

富山 秀一(福島)

小林丑太郎(打越)

*愛のふれあい基金へ積み立てました。

ありがとうございました。

表彰者を 推薦ください

中之口村表彰式に表彰される方(地域の善行等で他の模範となる方)を推薦ください。

◎提出先 役場総務課へ

※但し、表彰審査会で被表彰者は決定されます。

行政を支える人々⑦

消防のものは、江戸時代の「火消し組」といわれています。

消防団は、「自らの郷土は、自らが護る」といった精神を伝統とし、基調としています。

消防団は、いったん火災・風水害及び地震等の災害が発生した場合、郷土愛護の精神に基づき奉仕的に活動する非常備の消防機関です。

中之口村消防団は、2分団199名の団員で構成されています。

身分は、特別職の地方公務員となり。

なります。

ますます複雑多様化する消防業務に対処するために、責務を充分認識し、住民の生命財産を護るため活動を行っています。

◆主な業務

- ・夜間・早朝巡回
- ・防火水槽、消火栓の点検
- ・機械器具の定期点検

火をつけた

あなたの責任

最後まで



中之口村消防団幹部

職名	氏名	住所
団長	堀 義信	小 吉
副団長	長谷川正治	真 木
"	河治 憲夫	打 越
第1分団長	富山 清志	福 島
第2分団長	渡辺 正登	長 場
第1分団副団長	熊谷 篤	道 上
第2分団副団長	佐藤 宏作	小 吉

料理

(学校給食) 11月9日分より

◎ポテトカレーソテー

材料 (4人前)

- じゃがいも(中) 2個
- 人参(中) 1/2本
- 玉ねぎ(中) 1個
- ベーコン 3枚
- にんにく 1かけ
- 油 少々
- パームドカレー 1斤
- 塩少々 少々
- お湯適宜

作り方

- ①じゃがいもはいちよう切りにし、ゆでる。
- ②人参、ベーコンは千切りにし、玉ねぎはざく切りにする。にんにくは、うす切り。
- ③フライパンに油を引き、にんにく、ベーコン、人参を炒め、じゃがいもを入れお湯でのぼしたカレーを入れ、塩、こしょうで味をとえ少し煮る。

その他のメニュー

- ・さばの照り焼き
- ・豆腐汁
- ・ごはん、オレソジ豆乳

中之口村先人館がオープン

11月3日、村出身の第36代横綱・羽黒山や東映創設者・大川博、文学博士・小柳司氣太をはじめとした著名人の偉業を顕彰する施設として先人館がオープンしました。

村長をはじめ関係者によるテープカットの後、やんぐら太鼓の富山清志さんのふれ太



鼓に先導されて土俵開きを行いました。土俵開きは、ちびっこ相撲の行司で知られている大矢勝二さんが務め、土俵入り力士はお孫さんの大矢真くんが羽黒山と同じ不知火型を堂々で行いました。見物客は、昔ながらの相撲独特の慣習に興味深く見入っていました。



前日には、テレビ局の生中継で県内にオープンをPRしました。中継では、小林館長が展示品の紹介と館の目的を説明、羽黒山の親族の小林タキ子さんから羽黒山の思い出話を語ってもらいました。また、特別出演として新潟市相撲甚句会の方より『羽黒山関の相撲甚句』を披露してもらいました。

先人館は、県内では数少ない故郷の人物・歴史・生涯学習を体験できる施設です。気軽に先人館に立ち寄って館内に顕彰されている方々の生き方を学び、心の糧として将来の村づくりを活かしてください。今後とも先人調査・資料収集にご協力をお願いします。



病む母の沈頭 晦日そば
 大橋 敦子
 流れて来たこの古町の晦日
 そば 誠

晦日そばは、「年越しそば」「つごもりそば」ともいいますが、大晦日の夜に食べるそばのことです。また、「運そば」「運氣そば」「福そば」「寿命そば」など、各地それぞれの言い方もあります。

商家では大晦日は、明け方まで忙しいので、夜、腹ごしらえにそばを食べるといふことから「晦日そば」という名前が付いたというのが、一般的にいわれている由来のようです。しかし、年越しそばは祝儀食のひとつとされているので、この説は当たっていないという見方もあります。また、金粉が散ってしまったときに、そば粉をまいてはき集めるところから、次の年のことを思いながらそばを食べ、金を集めるといふ縁起を

晦日そば

かついだという説もあります。いずれにしても、細く長くという思いのこもった「晦日そば」という言葉には、感慨がこもっています。最近では、「孤食」という言葉もあるように、同じ家で家族が暮らしていてもライフスタイルの違いから、一人一人が違った時間に食事をすることも珍しくありません。せめて、大晦日の晩くらいは、家族そろって晦日そばを食べたいものです。

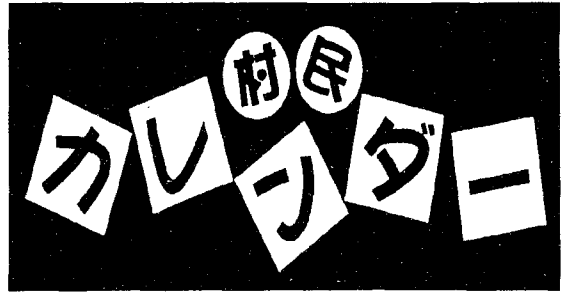
日本人の食事といえ、そばのほかに米。収穫したての品質を低温倉庫でキープしている政府備蓄米「たくわえくん」。販売協力店は、お近くの食糧事務所で紹介いたします。



平成 12 年



12 月



福祉教育と 共同募金運動

2002年から「学校5日制の導入」「総合的な学習の時間の導入」「ボランティア活動の推進」等、小・中・高校の新たな教育課程が施行されます。

共同募金会では、「総合的な学習の時間」の一環として、赤い羽根共同募金について取り上げることを提案しています。

自分のまちの
募金の使いみちの調査を

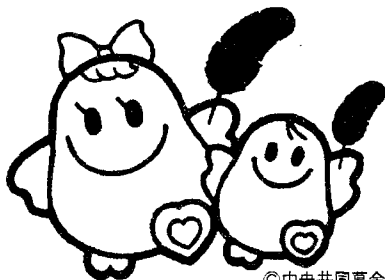
全国社会福祉協議会ボランティアセンターが1997年に調査したところでは、ボランティア活動を推進する学校・幼稚園の数は、幼稚園・保育園<521>、小学校<9,148>、中学校<4,098>、高等学校<1,112>、専門学校など<54>。小・中学校は全総数の4割近くを占めています。

「総合的な学習の時間」のなかで、自主的なボランティア活動の一つとして赤い羽根共同募金運動を行い、後に募金が自分たちのまちでどのようなことに役立っているのか調査をすれば、おのずと地域のありのままの実態を見聞きする福祉教育になります。

また、地域のボランティアと生徒たちとの交流が深まって、さまざまな福祉の実情を知ることにより、貴重な体験学習にもなります。

地域の福祉を充実させていくために、青少年も大人も一緒になって、募金運動を含めたボランティア活動を行うことが求められています。

愛ちゃんと希望くん



©中央共同募金会

赤い羽根共同募金ホームページ

www.akaihane.or.jp

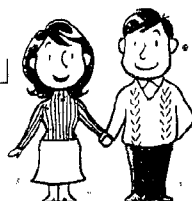
<厚生省>

月異名	花暦	誕生石
し わす 師 走	すいせん (うめぼれ)	トルコ石 (ターコイズ)

日 曜	行 事	コ ミ
1 金	1歳6か月児・お誕生健診H11年3月～6月生・H11年11月・12月生 13時 農村環境改善センター	▲
2 土		○
3 日	[外科] しまがきクリニック・巻町 ☎0256-73-1312	
4 月	機能訓練 13時 総合福祉センター	□●
5 火		○
6 水	定例行政・心配ごと相談 13時30分 総合福祉センター	
7 木	東保育園クリスマス会 10時 東保育園	○
8 金	親子ふれあい広場 9時30分 農村環境改善センター	▲
9 土	障害者の日 (総理府)	○
10 日	人権デー (法務省) 粘土教室開講式 13時 農村環境改善センター [外科] 高橋整形外科クリニック・西川町 ☎0256-70-4020	
11 月		◎
12 火	風しん H5年6月13日～H11年12月12日生 13時30分 農村環境改善センター 高齢者大学閉講式 9時30分 農村環境改善センター	○
13 水	三種混合 H5年6月14日～H12年7月12日生 13時30分 農村環境改善センター 心配ごと相談 13時30分 総合福祉センター	
14 木		○
15 金	中之口幼稚園クリスマス会 10時 幼稚園 ハーブ料理教室開校式 19時 農村環境改善センター	▲
16 土		○
17 日	優良運転者表彰申請受付 13時30分 農村環境改善センター [外科] 県立吉田病院・吉田町 ☎0256-92-5111	
18 月		□●
19 火	絵本読み聞かせ会 19時30分 農村環境改善センター	○

12月1日は「世界エイズデー」

エイズを知って
あなたが変わる
わたしも変わる



〈厚生省〉



観光情報

第21回「寒梅まつり」

12月9日(出)～17日(日) (小須戸町) 午前9時～午後5時
 園圃 花とみどりのシンボルゾーン
 県下でも有数の生産量を誇っている小須戸町で約20種類5000鉢の寒梅が展示即売されます。また、シンビジウムやシクラメン、千両・万両などの季節の花々や町特産品も展示即売されます。期間中の土曜・日曜日には、甘酒の無料サービスやかも汁1鍋100円販売もあります。慌ただしい年末ですが、美しい花々を見て、心を穏やかにしてませんか！
 園圃園 小須戸町産業課 ☎0250-38-3111

県立自然科学館催物

◆冬の特別展 12月16日(出)～1月14日(日)
 写真展『とやの湯の野鳥』
 鳥屋野湯に飛来する白鳥やヒシクイなど、さまざまな鳥たちを写真パネルで紹介します。
 ◆プラネタリウム 12月9日(出)～2月25日(日)
 『秘湯温泉物語～雪景色・星景色～』
 アニメによる物語のなかで、美しい冬の星空や星座を紹介します。温泉好きのオリオは、冬休みに田舎のおじいさんのところへ遊びに行く……。
 園圃園 県立自然科学館 (新潟市女池南3-1-1) ☎283-3331

ふれあい朝市



毎週日曜日

午前7時～8時

J A中之口支店中央倉庫前広場

休日夜間急患センター

◎診療科目・時間
 内科・小児科
 〈平日〉午後7時～10時
 12/1～30 1/4～
 〈休日〉午前9時～午後6時
 ※12/31～1/3も診療しています。
 ◎診療科目・時間
 歯科
 〈休日〉午前9時～午後6時
 ※12/31～1/3も診療しています。
 ☎0256-72-5499
 ※場所は、巻町立病院の隣です。

日曜	行事	ゴミ
20 水	中央保育園クリスマス会①10時 中央保育園 心配ごと相談②13時30分 総合福祉センター	
21 木		○
22 金	親子ふれあい広場①9時30分 農村環境改善センター ハーブ料理教室②19時 農村環境改善センター	▲
23 土	天皇誕生日 〔外科〕 榊原医院・分水町 ☎0256-97-5111	○
24 日	〔外科〕 町立巻病院・巻町 ☎0256-72-3111	
25 月	機能訓練①13時 総合福祉センター	◆
26 火		○
27 水	心配ごと相談①13時30分 総合福祉センター	
28 木	官公署御用納め	○
29 金		
30 土		○
31 日	大晦日 〔外科〕 新潟中央病院・新潟市 ☎285-8811	
1 月	元旦 元旦マラソン①8時30分 総合体育館 〔外科〕 新潟中央病院・新潟市 ☎285-8811	
2 火	〔外科〕 新潟中央病院・新潟市 ☎285-8811	
3 水	〔外科〕 新潟中央病院・新潟市 ☎285-8811	
4 木	仕事初め	○
5 金		

カレンダーマークの説明

①とき ②ところ ③対象 ④内容
 園 問い合わせ 田 詳しくのっているページ
 ○普通のゴミ ●鉄・缶類 ◆ペットボトル □ガラス類 セトモノ ◎古紙
 ▲プラスチック製容器包装 △白色トレイ
 ※粗大ゴミの申し込み 白根地域広域事務組合 ☎372-3701